

# シーシーージェイだより

2014.5

*Cardiovascular Hospital of Central Japan*

## 新入職員紹介号



医療法人 北関東循環器病院

〒377-0061 群馬県渋川市北橘町下箱田740  
TEL : 027-232-7111  
0279-30-2050  
FAX : 027-233-9092  
URL : <http://www.ccj.or.jp>

## 院長挨拶



北関東循環器病院が開院して 25 年が経過しました。その歩みは 5 年前には 20 周年記念として小冊子に、そしてその後の 5 年間でまとめました年報を刊行にむけて現在作成中です。その間、日本は 2008 年にアメリカに端を発したリーマンショックの影響で経済不況となり失業者やワーキングプアの増加、そして為替市場では史上最悪の円安で経常赤字が膨らみ GDP の倍にあたる 1,000 兆円の赤字国家になっています。2011 年 3 月に起こった東日本大災害もそれに追い打ちをかけたのは言うまでもありません。

そのような中でも日本の医療は国民の健康を維持するため、将来に目を据えた研究、薬剤・器具の開発に余念がなく、そして今日の患者さんの治療のために努力を重ねています。高齢者の増加から介護・在宅医療の必要性が年々増加する中、日本の医療・介護にかかる費用は 50 兆円（GDP の約 10%）を超えるまでになり、10 年後には日本が誇る国民皆保険制度の維持が困難になる時期がやってくる可能性が少なくありません。それを阻止すべく厚生労働省は病院から在宅へというスローガンを掲げ在院日数減少、ベット数の削減に取り掛かっていますが、かかりつけ医制度の確立や介護施設の充実なくしてはそのような方針も実現性はなく、既存の病院に負担を強いるのみになっています。大学病院や都市部の大病院の経営は国や市町村からの多額の補助金が出されるために表向きは成り立っていますが、そのような経営モラルでは無駄をなくすインセンティブは起こりえないのも事実でしょう。

医療従事者のみならず国民の一人一人がわが国の将来の医療制度がいかにあるべきかを考える時期が来ていると思います。アメリカのように富裕者のみが医療の恩恵に授かる制度を目指すのか、それとも今までのようにすべての人が医療・介護を受けられるような国民皆保険制度を維持するのは重要な選択肢です。もし、後者を望むなら、医療費を削減するあらゆる努力はなされなければならないでしょう。とりわけ都市部にみられる病院の散在と医師の偏在の解消、大規模な医療機器の共同利用、かかりつけ医と病院の連携による効率よい医療・介護の実現などを速やかに進める必要があると思います。

今回刊行予定の小冊子には過去 5 年間の年報を作成し、当院の現状、実績を提示しますが、私たちはそのデータを見据えて当院が将来の展望を模索するための材料といたす所存です。平成 27 年度中に完成予定の病院新棟では手狭になった外来診察室を増やし、透析ベット数の増加、リハビリテーション部の拡大などで患者さんのニーズに沿った医療の充実を目指していきますので今後の北関東循環器病院の更なる充実にご期待ください。

# 新任スタッフ 紹介



## 救急・総合外科 荻野 隆史

4月1日より、北関東循環器病院に救急総合外科医として勤務しています。医師となって20年以上となりました。群馬大学大学院臓器病態外科学、群馬大学大学院臓器病態救急学などで研鑽をつみました。医師としての前半は、外科医、心臓血管外科医として、後半は救急医として従事してまいりました。

今回、真面目で誠実な救急医療を行うため、より安全安心な高度救急医療を行うため、より患者さまの心に寄り添う救急医療を行うために、全国初の標榜名である「救急・総合外科」を北関東循環器病院で創設させていただけることになりました。

「救急・総合外科」とは、救急疾患全般に対してのみならず、内科・外科全般の病気に対し幅広い初期診療分野をもつことが特徴です。患者さまのさまざまな病気や悩みに対応していくという「全人的医療」をめざす診療科であることは勿論ですが、主な特徴は、特に緊急度の高い救急外科疾患（特に外傷）の初療から手術まで担当することが可能なことです。これにより、より高度な医療を提供することが可能となり、救命率の向上や後遺症の軽減に貢献し得ると考えています。

当院は北関東循環器病院と名前の示す通り、循環器疾患（循環器科、心臓血管外科）が特色で機動力に富む病院です。このため救急疾患（外傷、熱傷、中毒、心肺停止など）に対する治療法（手術、血管内治療、経皮的心肺補助装置、大動脈内バルーンパンピング、人工透析など）の選択肢は多く、中規模病院であるため職員間の連携がスムーズで真のチーム医療の実践が可能となっています。以上、堅苦しく色々なことを言いましたが、お伝えしたいことは…

「病気や怪我はある日突然、私たちの身に襲ってきます。そんな病気や怪我になった時、安心していつでも受診できるような病院（診療科）が必要です。そんな診療科になりたいと思っています。いつでも当科（救急総合外科）にご連絡ください。」



## 救急・総合外科 重田 哲哉

この度、市川理事長、南院長始め、皆様のご厚意により、救急・総合外科の一員として、この北関東循環器病院で仕事をさせて頂く事になりました。

今まではもっぱら、整形外科をやってまいりましたが、これからは、出来れば総合的な診療にも取り組んでいきたい所存です。慣れないことも多く、色々とお厄介をかけるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどを、どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、私は特に趣味などもなく、休日とはもっぱら子供と過ごしております。子供の相手は結構疲れるものですが、色々気づかされることも多く、子供と共に自分も成長している感じがあります。それは、子供に意識を合わせることで、大人の理論とは異なる、もともと自分が持っていた本質的な部分が想起されるからなのかな、と考える次第です。

これから、新たな職場で仕事に臨むにあたり、心機一転して、初心を忘れずに頑張っていきたい所存です。





**救急・総合外科 小平 明弘**

4/1より、荻野先生、重田先生とともに救急総合外科医として勤務することとなりました。地域医療の力になればと考えております。宜しくお願い致します。



**循環器内科 八木 宏明**

皆様初めまして循環器内科の八木宏明と申します。このたび4月1日よりここ北関東循環器病院医師として働かせていただいております。まず私のプロフィールですが生まれも育ちも前橋市で、大学は東京の私学を卒業後、群馬大学医学部第二内科に入局して、各種地方病院をローテーション後3月まで済生会前橋病院に勤務しておりました。群馬で幼少期を過ごしたことからとても群馬には愛着があります。この雄大な上毛三山に囲まれている群馬の四季折々の風景や伝統文化などを誇らしく思っております。専門は狭心症、心筋梗塞を含めた虚血性心疾患の診断、治療全般を主に行っております。

抱負ですが、地域密着型の医療を目指し、患者様の視点に沿った医療ができるように日々研鑽に勤しんでいる毎日です。患者様とのコミュニケーションを大切にして、一体何を困っているか、その他隠れている疾患がないかどうか注意深く問診、診察を行い問題の解決ができるように診察を行いたいと思っています。また、同僚やほかの医療関係者とのコミュニケーションを十分に行い、質の良い医療が提供できるように万全の態勢をつくって行く方針であります。

趣味は大学時代からスキューバダイビングを行っており、いろいろな海でダイビングを行っております。最近では時間があまりなく行えておりませんが、機会があればまた、ぜひ、さまざまな海を潜りに出かけたいと思っています。

まだ、至らない点も多々あると思いますが、患者様中心の医療が実現できるように努力してゆきたいと思っています。外来、入院中などお困りな点がございましたら声をかけていただければ幸いです。これからもどうぞよろしくお願い致します。

**北関東循環器病院理念・基本方針**

**理 念**

- ・患者中心の医療
- ・循環器疾患を中心とした全人的医療、医学

**基本方針**

～基本方針のキーワード～

- 1.人権、倫理、安全
- 2.医療の質
- 3.医療連携
- 4.人材育成
- 5.改革

- ・私たちは、患者の人権の尊重と医療倫理の遵守により、公平かつ安心な医療の提供に努めます。
- ・私たちは、患者の立場に立ち、ひとり一人の患者の思いを受け止め、理解と納得に基づいた医療に努めます。
- ・私たちは、全人的医療を行うため、全職員の専門性を結集したチーム医療に努めます。
- ・私たちは、地域の医療機関との密接な連携を図り、地域に開かれた医療に努めます。
- ・私たちは、地域に健康情報を発信し、適切な医療の啓蒙に努めます。
- ・私たちは、日々進歩する医療・医学の自己研鑽に努めるとともに優れた医療人の人材育成・人材教育に努めます。
- ・私たちは、より良い医療サービス提供のため、改革の精神をもって活力かつ誇りある職場づくりに努めます。

### 看護部 3階病棟 原沢 香

皆様、はじめまして。4月に入職し、看護部に配属となりました原沢香と申します。

職歴としては循環器内科勤務を行っておりました。まだ、入職したばかりで戸惑いはありますがプリセプターや周りの先輩看護師の方々に優しく丁寧なご指導を頂き、看護業務に関する多くの知識・技術を習得し充実した毎日を過ごしております。患者さまは入院生活による不安を共有することで、少しでも軽減できるよう心がけていきたいと思っております。看護師としての責任を自覚し患者さまが安心して入院生活が送られ、退院が迎えられるよう努めていきたいと思っております。

まだまだ未熟ですが、今後日々の業務での学びを深め、常に自分の看護を振り返り患者さまの満足につながる看護が提供できるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

### 看護部 4階病棟 金井 千鶴

はじめまして。4月に入職し4階病棟に配属になりました金井千鶴と申します。

新しい環境で覚えていく事の多さと、思った通りに動けない自分に焦りを感じ、不安と緊張の毎日ですが病棟師長はじめスタッフの方々に丁寧な指導を頂き、学んでおります。

看護技術の向上を目指すことはもちろんのこと患者様の立場になって考える、思いやりの気持ちを忘れず患者様に接していきたいと思っております。

一つ一つ着実に知識を深め技術を習得し患者様が安心して治療が受けられるような看護が提供出来るよう努めていきたいと思っております。

### 看護部 4階病棟 星野 雅子

4月に入職し、知ることすべてが、初めてのことばかりで毎日をめまぐるしく過ごしております。こちらに通うようになって思ったことは、景色が良いことと、スタッフの方々がみなさんととても穏やかで優しいということです。今は、そういう先輩方に色々教えて頂き、ただただ後を追うばかりです。一生懸命ついていき、技術面だけでなく、人間的にも成長していきたいと思っております。

近年、医療の進歩や健康に対する関心の高まり等から寿命が延びています。それにより、病気を抱えた状態で生活を送らなければならない方も増えています。そういう方々が、病気とうまく付き合い、できるだけ普通の生活を送ることができるよう、病気の悪化を防ぐお手伝いができようになりたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願い致します。

### 放射線課 安達 萌

こんにちは。4月より第二診療支援部 放射線課に配属となりました新人の安達萌と申します。私は茨川市出身なので、地域の医療に携われることになり、嬉しく感じております。

入職はまだ日が浅いため、分からないことばかりで迷惑をお掛けしていますが、周りの先輩やスタッフの方々の指導の下、少しずつ業務を覚えていきます。検査に来る患者様の中には不安を抱えている人も少なくないと思っておりますが、そういった不安を少しでも軽減できるようコミュニケーションを図り、技術を身につけたいです。一人前の診療放射線技師になるにはまだ時間がかかるかもしれませんが、患者様にとって安心・安全なより良い医療を提供できるよう今後とも努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

### 放射線課 田中 祐樹

みなさんはじめまして、4月1日より第二診療支援部放射線課に配属となりました田中祐樹です。3月に栃木の大学を卒業し、地元である群馬に貢献したいと思い就職を決めました。診療放射線技師として働くのが初めてなのでわからないことが多く不安でいっぱいですが、先輩方に指導して頂きながら患者様が満足できるような検査ができるように精一杯頑張っていきたいと思っております。今はまだ不慣れな事が多く皆様に迷惑をかけることがあるかと思っておりますが、「検査終わりましたよ」と言ったときの患者様のホッとした表情がとても嬉しいのでさらに患者様の立場に立てるような検査ができるように努力していきたいです。どうぞお願いいたします。

## 放射線課 鈴木 貴大

みなさん、はじめまして。4月より放射線課に配属になりました、鈴木貴大と申します。

4年間の学生生活を終えたばかりで環境が大きく変わり、臨床経験もなくわからないことばかりです。いまだに緊張や不安を抱えています。先輩方のご指導のもと少しずつでも成長できるように頑張ります。放射線技師としての知識や技術を向上するのはもちろんのこと、自分のやることすべてに責任を持ち、さらには患者様が安心して検査を受けられるように意識していきたいです。また、他の職種の方との協力・サポートをできるように日々努力していきます。群馬で生まれ群馬で育ったので、この群馬県でみなさんの力になりたいと思っています。至らない点も多々ありますが自分にしかできないことを見つけて患者様が「この病院は良かった」と思っただけのように努めていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

## ME課 藤巻 優太

今年度から当院でME課に勤務することになりました藤巻優太と申します。3月に専門学校を卒業して臨床工学技士になることができました。現在に透析室で業務を行っています。

趣味は身体を動かすことです。高校生まで野球をやり続けてきたので野球の話題で話しかけていただければ嬉しいです。野球だけでなく、スポーツ全般好きなので色々な話でコミュニケーションをとっていただけるとなと思っています。

学生の頃には当院で実習をさせていただきました。透析室での業務を実際に体験させていただいて感じた事は、現場の技士さんは患者さんとコミュニケーションをたくさんとってコミュニケーションの大切さを感じました。私は先輩の技士さんのように患者さんとコミュニケーションがとれるように努力しています。

また、患者さんが少しでも元気になっていただけるよう元気に挨拶をする事をこころ掛けています。

当院での臨床工学技士が行っている業務は幅広く、不慣れな事が多くご迷惑をおかけする事が多いと思いますが、私も先輩方のように良い医療を提供できるよう先輩方にご指導いただき日々精進できるように努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

## ME課 山下 紗

みなさんはじめまして。4月から臨床工学技士として第3診療支援部に配属となりました山下紗と申します。3月に学校を卒業し晴れて臨床工学技士になることができました。北関東循環器病院には去年の秋に実習先としてお世話になっておりましたが、この度就職先として働くことができ大変嬉しく思います。入職してからは、学生の頃とは全く違った経験の連続で緊張が続いております。まだまだ業務を覚えるのに必死な毎日で、諸先輩方から一つ一つ丁寧に指導をしていただき日々たくさんのごことを学ばせていただいております。また、患者さんがかけてくださる温かい言葉にも励まされて大変感謝しております。業務内容も大切ではありますが、病院スタッフや患者さんに対する態度や礼儀なども学んでいきたいと思っております。普段は透析室での業務が中心なので、透析を受けられる患者さんと共有する時間が長くなります。そのため、良い関係作りができるよう努力していきたいと思っております。外来の患者さんや入院されている患者さんと直接お会いできる機会は少ないとは思いますが、機器の点検などで関わらせていただくことがあると思いますのでその時にはよろしくお願い致します。最後になりましたが、今はまだ不慣れなことや、至らない点も多く病院スタッフや患者さんにはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが一日も早く仕事に慣れ、患者さんのお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## リハビリテーション課 大谷 愛

皆様初めまして。4月からリハビリテーション課に入職致しました、「大谷愛」と書いて「おおや まなみ」と申します。

大学を卒業後、社会人として立ち立てからまだ日が浅く、日々の生活に追われております。実家の太田市を離れての暮らしとなりました。慣れない生活に、日々が本当に慌ただしく過ぎていきます。また、渋川市などの北毛方面には今まで旅行でしか訪れたことがなかったので、まだまだ知らない事の方が多い土地です。車で走り慣れない道での地理の把握にも一苦労しているのが現状です。

しかし、社会人1年目であり理学療法士としても1年目の新米です。他職種の方や先輩方に少しでも早く追いついていけるように、日々勉強を積み重ねて知識を増やし、少しずつ業務も覚えてしっかりと理学療法士としての仕事に慣れていきたいと考えております。

これから日を追う毎に、皆様と一緒にリハビリをさせていただく機会や時間が徐々に増えていくと思います。その際は不慣れな点も多々ありますが、精一杯頑張っていきたいと思っております。

これから、北関東循環器病院の一職員として皆様に名前と顔を覚えていただけるように精進して参ります。よろしくお願い致します。



## リハビリテーション課 安達 知巳

今年度よりリハビリテーション課へ入職いたしました理学療法士の安達知巳と申します。私はこれまで障害者センターで利用者様に就労支援を行う仕事をしてきました。作業工程などを分かりやすく説明する能力が必要とされ、また、利用者様にはより楽しく作業を行っていただくために、笑顔を引き出す努力をしてきました。その中で出会ったのが理学療法士という職業です。今年度、念願かなって理学療法士になることができ、この北関東循環器病院へ入職することができました。

理学療法士という職業はまだまだ一般的ではなく、みなさまの中にも理学療法士が何をしている人なのかわからない方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。特に心臓リハビリテーションはまだ認知度も低く、あまり知られていません。心臓リハビリテーションは、まず患者様ご自身の病気のことを知って頂くことから始まります。そして運動指導や健康管理、心のケアなどをさせていただき、患者様がより良い生活を送れるように支援させていただきます。「笑顔」と「会話」はリハビリにとって重要なエッセンスだと考えており、みなさまと一緒に楽しく真剣にリハビリを行っていきたくと思っています。

笑顔を絶やさない理学療法士を目指しています。一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願ひします。

## リハビリテーション課 都丸 雅尊

私は中高生の時、サッカー部に所属していました。度重なる怪我により入院、通院をくり返しました。両親の都合で渋川から愛知へ転校した中学二年の入院時、お世話になったのが理学療法士の方でした。

膝関節痛に悩まされ、原因不明という診断をください、自暴自棄になっていました。焦り、慣れない日常生活への不安ばかりを口にする私に、自身の経験談も混ぜながら親身に聞いてくださる理学療法士の方に出会い、いつしかリハビリの時間も楽しみになるようになりました。サッカーができるまでに回復すると、理学療法士という職業に就きたいと思うようになりました。

高校に進学する頃、祖父母が病に倒れ寝たきりの生活を余儀なくされました。祖父は北関東循環器病院にもお世話になり、懸命に頑張っていました。入院生活が長く続いたのち逝ってしまいました。リハビリの重要性を痛感させられた出来事でした。

大学を卒業する頃、生まれ育った町に恩返しをしたいという思いもあり地域医療に貢献している北関東循環器病院に就職を望むようになりました。

患者様が少しでも楽しい気持ちでリハビリを受けて頂けるよう精一杯頑張っていきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

## 事務部 山岸 由佳

皆様、はじめまして。4月1日より事務部に配属になりました診療情報管理士の山岸由佳と申します。3月に大学を卒業し、社会人1年目となります。不安と緊張の毎日を過ごしておりますが、先輩方のご指導のもと少しでも早く仕事を覚え、患者さまやスタッフの方々のお役にたてるよう頑張っていきたいと思っております。診療情報管理士は幅広い知識と対応が求められます。これから多くのことを学び、吸収していき、よりよいサービスが提供できるよう日々努力し成長していきたいです。不慣れな点も多くあるかと思ひますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 事務部 関口 愛望

みなさん、はじめまして。4月から事務部に配属となりました関口愛望と申します。メディカルクラークとして医師事務補助業務を担当します。医師事務補助業務の基本的な業務は、診断書や診療情報提供書(いわゆる紹介状)などの医療文書の作成補助、電子カルテなど診療記録の代行入力、さらに医療の質の向上に資する事務作業、厚生労働省などに報告する診療データの整理など行政への対応があります。私は生まれも育ちも群馬県であり、就職するときは地域に貢献したいと思ひ、出身である渋川市の当院に勤務することを決めました。4年間の大学生活を終え、社会人1年目となります。まだまだ未熟なため、わからない事も多く、緊張と不安で戸惑う事の多い日々ですが、先輩方一つ一つ時間をかけてご指導して頂き、日々たくさんのお話を学ばせて頂いております。少しでも早く業務に慣れ、社会人として医療従事者としても信頼される人間を目指していきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

# 電子カルテ 導入のお知らせ

6月より「電子カルテ」を導入予定です。当初は、ご迷惑をおかけすることがあると思われませんが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 外来診療予定表

26.4.1現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	初診	新木 北條	金井	市川(明) 小林	南 八木	岩崎	小林 群大第1・3
	再診	市川 伊藤 北條 眼科(森本) 呼吸器(鈴木) 不整脈(太田)	高山 北條 市川(明) 眼科(大島) 糖尿(小和瀬)	岩崎 八木 荻野 糖尿(伴野) 腎臓(廣村) 眼科(大島)	南 高山 熊倉 金井 (10:00~12:00) 眼科(佐藤)	市川 小平 腎臓(林) 呼吸器(山口) 眼科(大島) 群大皮膚科 整形(栗原 第3) (9:00~10:30)	金井 新木 群馬大学脳外 眼科(大島) 内科(澤田) 皮膚科(第2) 群大婦人科(第4) 禁煙外来(角野 第4) 消化器外科(須納瀬) (10:00~12:00)
午後	初診	高山	小林 八木	北條 (熊倉)	南 市川(明)	新木	午後休診
	再診	熊倉 岩崎 荻野 整形(重田) 内科(角野) (第2・4)	市川 小林 八木 中島 群馬大学脳外 眼科(大島) 糖尿(大山・佐藤)	高山 血管病(熊倉) 眼科(大島) 小平	南 伊藤 金井 中島 シャント外来(市川明) 眼科(大島) ペースメーカー(第2・4)	高山 熊倉 小林 新木 整形(重田) 糖尿(伴野) 眼科(大島) 婦人科(伊吹)	

## 編集後記

桜の開花が始まった4月1日、緊張と期待に心膨らませた新入職員18人を当院に迎えることが出来ました。入職された方々が現場での指導を受けて、遅く成長して当院の人財として活躍されることを心より願っています。

日を同じくして、消費税が5%から8%になりました。消費増税が私達の生活にどのように影響していくのか?と不安を感じた日でもありました。

5月に入り、新緑のまぶしい季節になりました。戸外へ出て、清々しい空気を胸一杯吸って爽やかな気分を満喫しては如何でしょうか?

編集委員 櫻井和代

